

施設名称	河内長野市立障がい者福祉センター あかみね			
指定管理者名	社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会			
指定期間	平成 28 年 4 月 ~ 平成 33 年 3 月 (1 年目)			
運営状況	開館日数	304日		
	開館時間	午前9時~午後5まで		
	管理上の特記事項	※条例(研修室等の使用の特例)の規程に応じて、開館時間以外の対応しています。		
利用実績	利用者数	18,897名(障がい者 11,011名 ・ その他 7,886名)		
	利用団体数	利用者登録: 587名 利用団体数: 26団体		
	主な行事及び参加人数	A	各行事及び参加人数 別紙 利用者数総計 参照	
		B		
C				
稼働率	平日	70	算出方法 貸室の利用率を算出	
	土日	59.6	算出方法 貸室の利用率を算出	
	平均	64.8	算出方法 貸室の利用率を算出	
自主事業の実施内容及び状況	<p>○障がい児支援の充実と当事者家族へのグループ支援を行い、学校教育終了後も安心した生活を送れるような情報収集の場や生活相談の場を設けるなどの体制を整えました。</p> <p>○ボランティアコーディネーターを設置し、個々の障がい者の支援やそのボランティアが地域の支援者として、活躍できる場を積極的に提供しました。</p> <p>○既存のデイサービス事業(クラブ・教室など)については、ニーズ把握による見直しを行いました。また、既存クラブ・教室を当事者およびボランティアで自主運営できるものは自主運営を促しながら、見守り体制の強化・自立を図りました。さらに、利用者の健康の維持・増進を図りながら、利用者間の人間関係がよりスムーズになるよう努め、利用困難になったケースも状況に応じた支援ができるよう相談支援事業所など関係機関と連携できる見守り体制を整えました。</p> <p>○重度心身障がい者への受け入れ体制を充実(医療的ケア)しました。</p> <p>○強度行動障がい者への受け入れ体制の充実しました。</p> <p>○当法人が地域で組織化をすすめてきた地区(校区)福祉委員会や、また民生委員児童委員協議会と交流を深め、個々の信頼関係を築きながら組織力を発揮し、地域で当事者の方々の課題解決や緊急時の支援を含め、総合的な支援体制を図りました。</p> <p>○福祉避難所としての準備やあり方を市と協議をしながら、あかみね「防災・避難訓練」を実施しました。</p> <p>○施設利用が困難になってきた高齢化する障がい者等が心豊かにいきいきと活動できる体制の検討を行いました。</p> <p>○週末の事業のあり方やサービス内容の検討を行い、既存メニューでは利用できない利用者のニーズに応じた対応を行うことで、何か悩みごと等があれば、気軽に立ち寄れる施設をめざしました。</p> <p>○障がい者や家族の自助グループの活動を支援しました。</p>			
アンケート等意見聴取状況及び対応	アンケートの実施と集計結果の開示 (別紙 アンケート集計 参照)			
苦情又は事故の発生状況とその対応結果	<p>○苦情に関しては、特にありませんでした。</p> <p>○事故に関しては、1件(利用者との職員との接触事故 別紙 事故報告書 参照)</p>			
修繕、滅失の状況とその対応結果	<p>○電気設備点検時に高圧ケーブル・高圧機器取替工事について耐用年数の経過により取替工事の実施の必要があるとの文書が届いています。また本館エレベーター・分館エレベーターについても基盤の取替やロープの取替の文書が届いています。</p> <p>※上記以外の修繕および滅失の問題は、特にありませんでした。引き続き、老朽化する施設や設備を計画的に管理を進め、随時修繕箇所を確認・修理し、利用者により良い環境下で安心して利用していただける場を引き続き提供します。</p>			
その他	<p>○新たに業務を円滑に実施するため、アンケートの仕組みを変更し、また利用者の声などを聞くなどしてニーズの把握や内容の改善に努めました。さらに河内長野市立障がい者福祉センターあかみね運営委員会を設置し、各委員からの意見を反映するなど、サービス向上に努めました。運営委員会に関しては、毎年6月に委員会を開催します。</p>			